

2021年度（2022年3月期） 第3四半期連結決算概要および通期見通し

1.2021年度 第3四半期 決算実績 〈対前期〉

(1)決算実績のポイント

増収減益：増収・減益はともに2期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	+110百万m ³	工業用（発電専用）需要家の稼働増 春先の高気温影響による家庭用需要減等
電力販売量	+2,340百万kWh	小売件数増および卸供給先の需要増による販売量増
売上高	+1,534億円	原料費調整に伴う単価増などによる「ガス」の売上高増等
営業費用	+1,821億円	原油価格上昇影響などによる「ガス」の原材料費増等
営業外損益	+140億円	為替差益+91億円、持分法による投資利益+43億円
特別損益	+90億円	（当期）投資有価証券売却益+36億円 （前期）投資有価証券売却益+47億円 減損損失△75億円 投資有価証券評価損 △46億円等

※2020年度に企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年度に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映。

＜2021年12月末現在連結会社数：連結子会社 108社、持分法適用関連会社15社＞

決算実績表	2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%
売上高 (歴代3位)	13,875	12,341	1,534	12.4
営業費用	13,499	11,678	1,821	15.6
営業利益 (歴代14位)	375	662	△287	△43.4
経常利益 (歴代13位)	462	609	△147	△24.1
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代12位)	338	424	△86	△20.3

＜参考値＞（符号は利益に対する影響を示す）

スライドタイムラグ(※)	△272	140	△412
年金数理差異償却額影響	82	6	76

※原料費調整制度において原油価格の上昇（下落）に伴う原材料費の増加（減少）が売上高の増加（減少）に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2021年度3Q	2020年度3Q	増減
為替レート(¥/\$)	111.14	106.10	5.04
原油価格(\$/bbl)	73.95	39.05	34.90
平均気温(°C)(※)	19.7	19.4	0.3

※お客さまそれぞれのご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したもの。

(2)都市ガス・電力販売量

		2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	1,827	1,962	△135	△6.9
	業務用	百万m ³	1,514	1,572	△58	△3.7
	工業用	百万m ³	4,532	4,105	427	10.4
	計	百万m ³	6,046	5,677	369	6.5
	他事業者向供給	百万m ³	1,149	1,273	△124	△9.8
	合計	百万m ³	9,022	8,912	110	1.2

家庭用：春先の高気温影響による需要減
業務用：夏場の低気温影響による空調需要減
工業用：発電専用需要家の稼働増
他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,733（対前期△202）※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。
取付メーター数(千件)：12,161（対前期+120）※取付メーター数は、休止中・開栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	7,687	7,152	535	7.5
	卸他	百万kWh	12,339	10,533	1,806	17.1
	合計	百万kWh	20,025	17,685	2,340	13.2

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要増

小売お客さま件数(千件)：2,934（対前期+305）※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%	2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%
ガス	8,920	7,958	962	12.1	164	644	△480	△74.5
電力	3,086	2,823	263	9.3	116	148	△32	△21.7
海外	624	317	307	96.5	217	23	194	831.8
エネルギー関連	2,275	2,361	△86	△3.6	109	117	△8	△7.3
不動産	433	355	78	21.9	128	66	62	92.1
その他	737	789	△52	△6.6	14	24	△10	△42.0
調整額	△2,202	△2,265	63	—	△328	△359	31	—
連結	13,875	12,341	1,534	12.4	420	665	△245	△36.9

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業（液化石油ガス、産業ガス）、LNG販売、トレーディング等。
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、EJG コアリング リューション事業（EJG コアリング、EJG サービス等）、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	2021年度3Q	2020年度3Q	増減		2021年度3Q	2020年度3Q	増減
設備投資	1,326	1,669	△343	D/Eレシオ	1.14	0.92	0.22
営業キャッシュ・フロー	1,820	1,734	86	ROA	1.2	1.6	△0.4
有利子負債	13,181	10,659	2,522	ROE	2.9	3.7	△0.8

(注)有利子負債、D/Eレシオは2021年3月末との比較

2.2021年度 通期見通し 〈対前回（10.28）見通し〉

(1)通期見通しのポイント

対前回 増収増益 対前期 増収増益（純利益ベース）

都市ガス販売量	+581百万m ³	発電需要増に伴う工業用の増等
電力販売量	+910百万kWh	小売・卸販売量増
売上高	+1,200億円	「ガス」の売上増+1,018億円（販売単価増等）等
営業費用	+1,150億円	「ガス」の営業費用増+927億円（原材料費単価増等）等
営業利益	+50億円	ガス+91億円、海外+55億円（販売単価増等）電力△80億円（電力市場価格高騰影響等）等

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	2020年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	12,963	12,382	581	4.7	12,990	△27	△0.2
電力販売量(百万kWh)	27,874	26,964	910	3.4	24,761	3,113	12.6
売上高	20,900	19,700	1,200	6.1	17,651	3,249	18.4
営業費用	19,850	18,700	1,150	6.1	16,874	2,975	17.6
営業利益	1,050	1,000	50	5.0	776	274	35.2
経常利益	1,030	930	100	10.8	705	325	46.1
親会社株主に帰属する当期純利益	760	670	90	13.4	495	265	53.5

経済フレームほか	今回	前回	増減	2020年度	増減
為替レート(¥/\$)	112.11	109.91	2.20	106.10	6.01
原油価格(\$/bbl)	74.21	70.15	4.07	43.35	30.86
平均気温(°C)	16.4	16.3	0.1	16.5	△0.1
スライドタイムラグ(億円)	△29	△242	213	△121	92

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(4Q)

(単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	3	13	△10
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	0	0

※4Qの経済フレーム（原油価格70\$/bbl→75\$/bbl、為替レート110円/\$→115円/\$）